

# 令和2年度 長寿の里・津島 事業報告

## 1. 令和2年度の重点取り組み内容

### (1)業務の効率化と業務内容の標準化

基本介護技術マニュアルの見直しを行い、特養とデイサービスの対応方法が統一されていなかった介護技術の改善をしました。また、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延に伴い、変更が必要になった業務について、標準的な業務へ落とし込む事で職員の負担軽減などに繋げる事ができました。

### (2)ICT やノーリフティグケア等の検証及び試行

デイサービスへの電子カルテ導入を中心に、電子化できる情報の二重転記などの業務負担となっていた内容を精査しました。館内の無線ネットワーク環境の整備が出来ず、特養でのオンライン面会や、職員向けのオンライン研修を行うことが出来ず、課題として残りました。

ノーリフティングケアについては、跳ね上げ式の車椅子の導入や施設内での研修を通して職員の身体的な負担軽減に繋がりました。

### (3)防災意識の向上と BCP 計画の策定

大規模災害に備えた防災計画の策定及び訓練を計画的に実施しました。集団感染に備えた備品の見直しを行い、感染症対策を盛り込んだ業務継続計画の策定を開始しました。

### (4)大規模修繕

施設館内の空調機器の入れ替え、照明の LED 化を施工しました。工事完了に伴い、電気代の大幅な削減が実現しました。また、ご利用者及びご家族から好評を博し、職員全体のモチベーションやコスト意識の向上に繋がりました。

## 2. 部門別運営計画

### (1)特別養護老人ホーム

全国的な感染症の蔓延に伴い、予定をしていた施設内外の研修が中止になりました。業務改善や内部研修を行いながら職員の介護技術の向上に努めました。介護福祉士資格を1名が新規取得しました。感染症対策に伴う業務の見直しや施設の備品等の整備を適宜行うことができました。

### (2)ショートステイ

特養・デイサービスと連携し業務の共通化を図りました。職員間の情報共有の為、申し送りノートを確立させ、利用者の生活スタイルに応じたサービスの提供をすることができました。

### (3)デイサービス

業務改善とサービス品質向上を目的とした検討会を毎月実施し、職員の意識向上に努め、サービス全体のレベルアップに繋がりました。機能訓練指導員による個別メニューの充実化や医療依存度の高いご利用者の受入れを強化し、利用者総数の増加を図ることが出来ました。

### (4)居宅介護支援事業所

アセスメント技術の向上を図り、多様化する生活環境や家族構成に対応した適切なケアマネジメントの作成に努めました。施設内外の研修を通して個人のスキルアップを図りました。

### (5)老人給食サービス

安否確認、市役所との情報共有、安全運転の徹底に努めました。

## 3. 今後対処すべき課題

施設の経年劣化に伴い、早急に修繕が必要な箇所があります。優良サービスを継続する為、助成金等の活用も含めて、計画的に更新をする必要があります。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染対策を標準化していくことが課題となります。感染対策を盛り込んだBCP計画の策定と共に、業務改善や備品の見直しを行う必要があります。

令和3年度の介護保険制度改定を踏まえ、人員の見直しや各種加算算定に向けた総合的な施設体制の整備、専門職の資質の向上が課題となります。